

診断書・証明書等の文書を作成する際に参考にするのは主に診療録です。診療録には医師が患者を診察した際、患者の主訴、治療内容等が記載されています（診療録の構成、記載内容の詳細についてはテキスト2で学習します）。傷病名の決定から診察の経過等の医療内容も医師事務作業補助者としての必要な知識といえます。

また医師事務作業補助者として診療録や処方箋の代行入力にあたっての医療内容の知識も必要です。医師からの指示を診療録に代行入力したり、医師と患者の会話から診療録を代行入力することもあるでしょう。また検査等の予約を入力することもあります。傷病に対する主な検査や治療方法の概要を知ること、円滑な代行入力が行えるでしょう。

1 おおまかな治療の流れ

傷病によって医療内容は異なりますが、おおまかな流れとしては「調べる」→「治療する」ことが一般的です。

次の診療録を例に、治療の流れを見てみましょう。

傷病名		職 務	開 始	終 了	転 帰
④	右橈骨骨折	上・外	○年 4月 25日	○年 6月 2日	②、死亡・中止
	右手・右足打撲	上・外	○年 4月 25日	○年 4月 30日	②、死亡・中止
			年 月 日	年 月 日	治 癒、 死 亡・ 中 止
既往症・原因・主要症状・経過等		処方・手術・処置等			
①	令和○年4月25日 日曜日 ⑤) 救急車にて来院。 庭木の剪定中、あやまって脚立から転落 右手、右足、右前腕を打撲 右手、右足、右前腕痛あり 右前腕の腫脹著明	4月25日 緊急撮影 ・右手～前腕デジタルX-P(2回撮影) 電子画像管理 ・右足デジタルX-P(2回撮影) 電子画像管理			
	既往歴、家族歴なし 職業：タクシードライバー 喫煙：1日10本程度、アルコール：1日2合程度 アレルギーなし	⑤ ・右橈骨徒手整復 ギプス固定(右前腕～手部) ・右手、右足にカトレップパップ各1枚貼付			
③	○) KT37.2℃、P75、BP125/80 バイタルに問題なし	⑥ ・院外処方 ロゼオール錠60mg 1T 3回分 疼痛時屯用 カトレップパップ70mg 7枚入り2パック (1日1枚)			
	③) レントゲン結果、右橈骨骨折を認める 徒手整復後ギプス固定 右手、右足は打撲 パップ剤貼付				
	P) 自宅療養指示、ギプス装着中は就労不可				

① 患者の主訴

患者からの訴え(原因や状況等)です(詳しくはテキスト2、「第1部 第1章」、で学習します)。

② 検査等

「デジタルX-P」とはレントゲン検査のことです。「右手～前腕」と「右足」の2ヶ所をレントゲンによる撮影を行っています。
※各部位の確認は「医学入門」を参照しましょう。

③④ 傷病の確定

レントゲン検査の結果、医師は「右橈骨骨折」と「右手・右足打撲」の診断をしました。

※「橈骨」の場所を「医学入門」で確認しましょう。

⑤ 治療内容

「右橈骨徒手整復」は右橈骨に「骨折非観血的整復術(手術)」を実施したことを示しています。

さらに手術部位に「ギプス」を装着しました。「ギプス」は固定具の一種です。固定具の種類には、このギプス(ギプス包帯)の他にギプスシーネ、コルセットなどがあります。

右手、右足にはカトレップパップ(消炎鎮痛剤)を貼付(湿布処置)しました。

⑥ 院外処方

患者に院外の保険薬局で「ロゼオール錠(鎮痛剤)」と「カトレップパップ」を調剤してもらうよう指示しています。

ここでは骨折の例で説明しましたが、それぞれ傷病によって医療内容は異なります。各傷病に対する医療内容を理解することはとても重要です。

傷害保険の給付金請求のために、受傷部位を図示しなければならない文書もあります。身体の部位・名称も必要な知識といえます。

また処方箋の作成も医師事務作業補助者の代行入力認められている文書のひとつです。薬の基本知識も必要な知識といえるでしょう。

※学習中は「医学入門」を参照しましょう。

診療録や処方箋に記載される内容は、正式な名称ではありません。特に検査等では略称等で記載されることも多くあります。なかでも血液検査に関しては略称で記載されることも多く、医師事務作業補助者が電子カルテ（オーダーリングシステムを含む）に代行入力する際に、その検査項目を理解し正しく入力することが必要です。

使用される略称等は医療機関または医師によってもさまざまですが、知識として習得することはとても重要です。処方箋に記載する薬剤名も医師からの指示が略称であることもあります。

学習中は巻末の医療用語・略語集を参考にしましょう。

チェック問題 14

問1 「医学入門」を参考に「虫垂炎」に対する各問の正しいものを選びなさい。

- ① 虫垂炎は(A 循環器系 B 消化器系)の疾患である。
- ② 虫垂炎の症状のひとつに(A 腹部圧痛 B 血便)がある。
- ③ (A 血液検査 B 尿検査)を行い診断する。
- ④ ③の検査とあわせて(A 腹部超音波 B 心電図)検査を行う。
- ⑤ 治療のひとつに(A 盲腸切除術 B 虫垂切除術)がある。

問2 次の略称に対する正式名称を()内に記入しなさい。

- ① X-P ()
- ② Appe ()
- ③ BSR ()
- ④ Ins ()
- ⑤ Z ()

チェック問題 解答

【チェック問題1】

問1 「医療関連法規」の目次等を活用してください。

- ① 第99条 ② 第4条の2 ③ 第19条 ④ 第50条 ⑤ 第16条

問2 「医療関連法規」巻末の索引を活用してください。

- ① 労働者災害補償保険法 第22条の2 ② 医療法 第4条
- ③ 障害者総合支援法 第54条 ④ 地域保健法 第6条 ⑤ 介護保険法 第3条

問3 1. 署名(または記名押印) 2. 診断書 3. 診療録 4. 処方箋

5. 主治医意見書(2、3、4、5は順不同可) 6. オーダーリングシステム

【チェック問題2】

問1 1. 医師不足 2. 勤務医 3. 開業医 4. 軽症者 5. コンビニ

問2 1. 地域偏在 2. 診療科偏在 3. 小児 4. 産婦人(婦人、産でも可)

5. 外 6. 女性医師 (3、4は順不同可)

問3 1. マッチング 2. 都市部

【チェック問題3】

① 1. 個人情報保護法(個人情報の保護に関する法律)

② 1. 行政機関個人情報保護法(行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律)

2. 個人情報保護条例

③ 1. OECD(経済協力開発機構) 2. プライバシー保護 3. 個人データ

【チェック問題4】

1. 患者番号(患者ID) 2. 傷病 3. 保険

【チェック問題5】

1. 利用目的 2. 明示

【チェック問題6】

1. 相続 2. 支給の証明 3. 患者本人

【チェック問題7】

問1 1. 診療録 2. 患者情報 3. 電子カルテ 4. オーダエントリーシステム

問2 治療計画、診療内容、診断名、病歴、臨床検査データ、放射線の読影所見、承諾書、手術記録、退院時サマリーなど